

AIRHEADS通信

vol.

61

比べてみると結構違う！？ 再考すべきLANスイッチ選択その1

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

Aruba SEの和井と申します。

企業に勤めていると、自分の家族を職場に呼んで
普段の仕事を見てもらうというイベントって結構ありますよね。

Arubaの場合は、「Family Day」というイベントがそれにあたります。

HPE、HPI社員の家族をHPオフィスに招待して、家族に職場を見てもらうイベントなのですが、
我が家は毎年参加させていただいています。

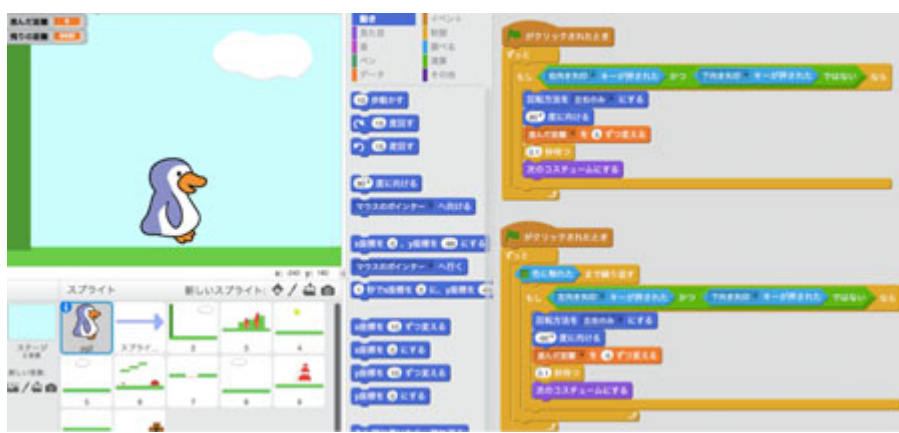
今年はこれから開催の予定ですので、どんなイベントになるのか今から楽しみです。

そうそう、昨年は小学生向けのプログラミングに子供が参加しました。

いや、まさかそんなに“はまる”とは思っていなかったのですが、
夏休みの終わりには自作でゲームを作り、

「夏休みの絵日記がかったるいからプログラムで書く」という
驚愕の思考を持つまでに。

ちなみに自作ゲームはこんな感じです。



※画面はScratchのもので、ScratchはMITメディア・ラボの
 ライフロング・キンダーガーデン・グループによって開発されました。
 詳しくは <http://scratch.mit.edu> をご参照ください。

しかも、今は子供向けのプログラミング言語学習環境であるScratchから
 Pythonに移行する勉強をしているところ。

子供曰く

「Pythonもほとんど一緒だから簡単だけど、字ばかりだからつまらないんだよね」 って。

そのうち、Pythonの使い方をAruba主催のAirheadsアカデミーで
 講義してもらおうか...

学びのきっかけはそれぞれですが、
 貴重な夏休みだからこそ、子供にはいいきっかけを与えてあげたいものです。

比べてみると結構違う！？

再考すべきLANスイッチ選択その1



ネットワーク構築に不可欠なLANスイッチ。新たにネットワークを敷設する際に購入することになりますが、単純なポート数や値段だけで選んでいませんか。もはやコモディティ化してそんなに違いはないと思っている方も少なくないようですが、実際には使い勝手の面やかゆい所に手が届く機能など、結構違いがあるものです。ディーン協力のもと大輔が改めて検証した、LANスイッチの違いとは？



大輔 (だいすけ)

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の



美咲 (みさき)

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾

運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。

年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。

倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



いや、困ったな。



こんにちは、大輔さん。今日は情シス全体のミーティングでこちら（情シス子会社）に伺ったんですけど。



やあ、美咲くん。いやね、ちょっと新しい拠点を立ち上げるんだってさ。



うちのグループですか？まあよくあることだと思いますけど。



そうなんだよ。
で、そのネットワークを検討して欲しいって上司からいわれちゃってさ。



よかったですね、ちゃんとお仕事できて。



いつもやってます！
でもさ、いつも無線ばかりやっていたので、最近の有線スイッチ、いわゆるLANスイッチってあまり知らなくて、どんなの選んでいいのか見当つかなくて。



まあコモディティ化している部分もありますからね。



そう、まあどこを使ってもあんまり変わらないのかなって。でもさ、運用管理する立場になると、できる限り使い勝手がいい方がありがたいじゃない？



いろいろ聞いていると、どんなLANスイッチを選んでいいのか悩んでいるわけですね。



ま、そういうことだね。でもさ、そんなに違いがあると思う？
転職前は、確か日本の製品を使っていた気がするんだけど。



私もあまり印象がないですね。



まあどこでもいいかなあ、そんなに違わないだろうし。



チョット待ったア！！いったん考えまショ？



あれ、ディーンはこの話に食いついてくるの？



実はちょうど検証していたんデスよ。特に日本ベンダのLANスイッチって私の出身地であるインドネシアでは使わないデスからね。



そうか、僕になじみがあっても、ディーンにとってみれば初体験なわけね。じゃあ検証してみようよ。でも、端末ってあるの？



私も興味があって、ある日本メーカのモノを借りたところデス。ちょうどArubaのスイッチと比較してみようと思ッテ。



手際が良すぎだね。じゃ、早速。



でもどんなところがポイントになるんでしょうね。



まずGUIは気になるな。多分最初の初期設定はCLIで設定すると思うんだけど、日々の運用に入ったらGUIがメインになると思うし。



じゃ、まずは環境を見てみまショウ。まずはArubaカラ。



ほうほう、今どきな画面だね。モダンUI...というのか、見慣れている感じ。



WebのGUIへはIPアドレスを設定しておくだけでアクセスできます。Windowsはもちろん、Chromeでも、MacOSでも大丈夫デス。



まあこの辺はあまり変わってないんじゃないですか？じゃあ次は日本のものを...



あれ？なんでアクセスできないの？



えーと、マニュアルを見てみると...あ、Windowsのみの対応ですよ、この製品。



えー！？僕のMacじゃ見れないじゃない。
しかも、Javaアプレットのインストールが必須だって。



Webブラウザでもアクセスできるものに制限があるようデスよ。



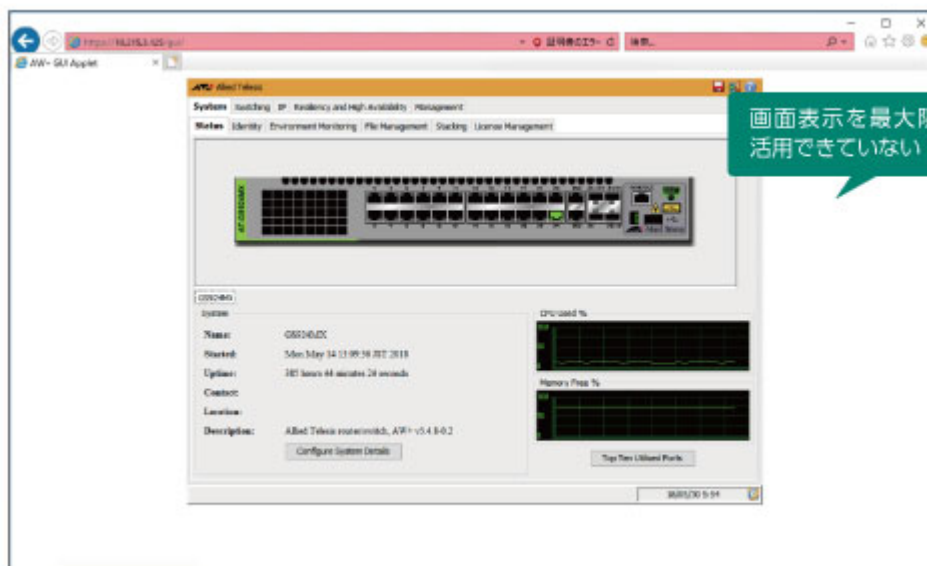
えーと、IE7以上、Firefox 2.0以上だって。
Windows10のEdgeすら使えないのか...



うへえ、GUIにアクセスする環境を整えるだけでもこんなに時間がかかるとは。
全然使い勝手が違うじゃないか。



まあ、そんなにイライラしないでくださいよ。ふう、ようやくアクセスできました...って、これってフルブラウザでGUIが作られてないの？



ああ、確かにArubaの場合はフルブラウザで情報がしっかり確認できるけど、日本製品のGUIは何か表示エリアが小さい。



なに、これ。今どきフルブラウザに対応していないGUIなんてあります！？



美咲くん、落ち着いて。今度は君がキレかかってるよ。



まさか、できることにも差があるっていうんじゃ...



VLANやポート、DHCPサーバ関連の設定はどちらもできマスが、SNMPの設定やSTP、ポートセキュリティなどの設定機能は日本の製品にはないようデス。



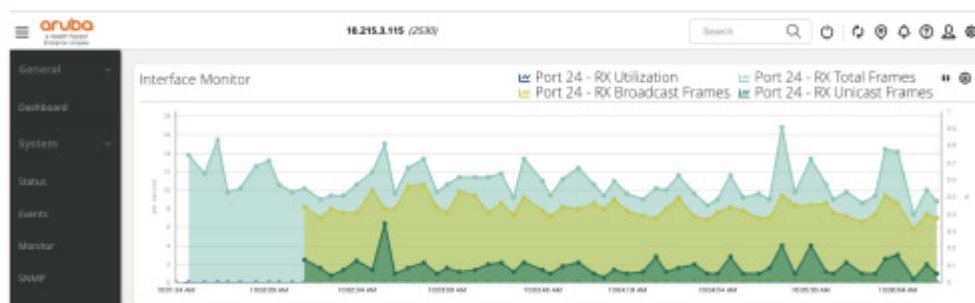
なんかイライラしてきた。
全然LANスイッチなんて比較してこなかった私自身に腹が立ちます。



グラフ表示だけでも、結構違いマスよ。CPUやメモリの使用量はどちらでも表示されマスが、Arubaの場合はファンやパケットバッファ、ログバッファ、RXエラー数、TXドロップ数といったことまでグラフ表示できマス。



ポートのモニタリングも個別にできるんだね。状況が把握しやすいそうだなー。



きー、なんか自分に腹が立つ！！



み、美咲くん、まあ、落ち着こうよ。
ディーン、美咲くんの沸点、ちゃんとモニタリングしておいてよ。



スママセン、美咲サンが沸点に達する閾値、今度教えてください...

==== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2 第1回の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

====

バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブルトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブルトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！無線LANトラブルの回避 トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。